

# 分岐工事について

令和 5 年 12 月  
福島市水道局給水課  
給水検査係



- (1)分岐工事の留意事項について
- (2)分岐工事等の写真の撮り方について
- (3)配水管状況等調査票について



# (1) 分岐工事の留意事項

- ① 分水栓をセットし、水圧0.98MPaで2分以上保持し、漏水の無いことを確認したうえで穿孔すること。(※穿孔時は必ず有圧管で施工すること)
- ② 分岐穿孔、配管作業を行う者は、必ず「技能を有する者(実務経験者)」とする。
- ③ 分岐工事における断水工事の場合は、事前に操作バルブ(仕切弁、排水弁など)の開閉操作が可能なことを必ず確認すること。

## ※確認事項

操作バルブや排水施設(排水流末経路も含む)の位置。

開閉操作が可能なことの確認(バルブの深さや弁筐の中が泥や水など操作できない場合もある)

④ 分岐穿孔し、出水を確認するときは、濁水の原因となるのでバルブはゆっくり開けること。

特に、老朽化している鑄鉄管(CIP)等からの分岐工事、切り取りによる断水工事については、事前に給水検査係と協議のうえ施工すること。

⑤ 穿孔を行う前に穿孔機ドリルの締め付けが完全に稼動するか必ず確認すること。

- ⑥ 万が一、穿孔に失敗した場合は、速やかに給水検査係に連絡し、その指示に従うこと。
  
- ⑦ 工事の予定は、営業日3日前までに連絡（電話または窓口）すること。  
（電話受付は、午前9時～12時、午後1時～4時）
  
- ⑧ 予定通り工事を実施する場合、**当日の開始と終了の連絡**をすること。変更等があった場合や工事の途中で問題が生じた場合は給水検査係に連絡すること。

## (2) 分岐工事等の写真の撮り方について

- ① 着工前に分岐箇所<sup>①</sup>の清掃中、清掃後の写真。
- ② 他の分岐、異形管及びその他の埋設物から30cm以上の離隔が確認できる写真。
- ③ サドル取付状況写真。
- ④ 片締め及び傾きが無い<sup>②</sup>か確認できる写真。
- ⑤ 穿孔前の水圧テスト状況の<sup>③</sup>写真。(テストポンプとの接続写真と、時間経過がわかる時計を入れること)
- ⑥ 穿孔状況(管種・口径及び分岐口径を記入)が確認できる写真。

- ⑦ 穿孔後の刃の状況(PE管・PP管・VP管等)
- ⑧ コア挿入状況(穿孔時コアが現地にあることが確認できる写真及び、挿入機により施工されているか確認できる)写真。
- ⑨ 防食フィルムの施工前及び施工後の確認できる写真。
- ⑩ ガス管と離隔がどうしても取れない場合、耐磨版( $t=6\text{mm}$ もしくは、 $t=2\text{mm}$ を3重巻き)の設置前、設置後の写真。
- ⑪ 施工写真は、写真台紙に整理して提出すること。

# (3) 配水管状況等調査票について

分枝工事・分枝止工事に伴う既設配水管状況等調査(現場記録票)

調査箇所基本情報			
給水装置位置:	福島市	町・字	地内
施工区分及び調査実施年月日等		天気	受付番号
分枝	平成 年 月 日 (月・火・水・木・金・土・日)	時間	工事実施者名
分枝止			主任技術者名
道路区分	<input type="checkbox"/> 県道 <input type="checkbox"/> 市道 <input type="checkbox"/> その他	戸番別番号	
分枝配水管の埋設状況調査結果			
調査項目	確認情報 (書きずるものを○で囲む、しきでチェックを行う。または印を記入する。)		
1 管種	DIP、DIP-B、VP、PP、SP、GP、CIP、その他、不明(写真判断)		
2 呼び径(口径)	50mm、75mm、100mm、125mm、150mm、200mm、250mm、300mm、350mm、400mm、450mm、それ以上、_____mm		
3 継手形式	出現せず、A、K、T、NS、SII、GX、TS、RR、その他、不明(写真判断)		
4 外面防食	ポリスリーブあり、ポリスリーブなし(樹脂管や金属管チェック)、その他防食あり		
5 配水管腐食状況	腐食なし、表面発錆のみ、一部肉厚なし、広範囲で肉厚なし、対象外(VP、PPは対象外)、該当なし		
6 継手腐食状況	破断不能、腐食なし、表面発錆のみ、一部肉厚なし、広範囲で肉厚なし		
7 配水管周囲戻り土種別	川砂、良質土、その他		
8 給水管埋設地山種別	砂質土、粘性土、レキ質土、軟岩、その他		
9 地山水分量	量乾いている、湿っている、にじみ出ている、濡き水で水替工が必要		
10 埋設位置	歩道、車道、私道、里道、その他		
11 埋設深度(m)	_____m (少数第3位を四捨五入 1.348m⇒1.35m)		
12 管布設年度	年度確認できず(明ボテブに年度記載なし)、西暦(____年)、和暦(昭和・平成____年)		
13 写真による記録	写真撮影箇所	撮影上の留意点	
	<input type="checkbox"/> ①配水管出現状況(全景)	撮影完了後、ポリスリーブ設置金具が配水管の埋設土種と判別できるよう配水管継手方向に小敷を撮影。他金具の占有物がある場合はその旨も撮影する。	
	<input type="checkbox"/> ②管外面腐食状況(近景)	配水管表面を清掃後、分枝継手直前に外面腐食状況をアップで撮影する。	
	<input type="checkbox"/> ③継手部分状況(近景)	継手部分に管継手が露出した場合、継手の形状やボルト・ナットの腐食状況が確認できる近景写真を撮影する。	
	<input type="checkbox"/> ④掘山地山状況(近景)	掘開きの配水管継手方向の掘開き地山の近景写真を撮影する。	
	配水管掘山:例	<p>番号は掘削、撮影項目の番号である。また、矢印は撮影方向を示す。</p>	

● 現在、29件の提出を頂き御礼申し上げます。

● 今後の水道管更新計画のデータベースとして活用しますので、できる限りのご協力をお願い致します。

※提出書類

現場記録票、現況写真、戸番図、位置図

